

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	東京事務所設置準備事業	事業期間	令和 5年度～令和 5年度	

【事業全体概要】					
事業の概要	東京圏におけるシティプロモーションと官民連携の推進体制の強化に向けて、令和6年度の高松市東京事務所設置を目指し、都内のコワーキングスペースを試行的に利用しながら、東京事務所の設置場所の検討や民間企業等との人的ネットワークの構築を図る。				
6年度概要					
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】	
対象（何を）	東京圏の民間企業等、大学等
意図（どのような状態にしたいか）	交流人口や関係人口の拡大、移住・定住の促進、企業誘致の拡大、特産品の販路拡大等

【事業の活動】						
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5

【事業の成果】								
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	東京事務所開設に向けた作業進捗率	%	目標値	0%	0%	90%	100%	90
			実績値	0%	0%	100%		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 都内コワーキングスペースを試行的に利用しながら、シティプロモーションと官民連携の推進にふさわしい東京事務所の設置場所を検討した結果、令和6年4月1日にWeWork丸の内北口に開設することを決定した。 							(達成度) 111.1% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】						
指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）	
トータルコスト	〔円〕	0	0	2,289	0	
（事業費）	〔円〕	0	0	2,289	0	
（職員人件費）	〔円〕	0	0	0	0	

【評価】			
評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	完了
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
都内コワーキングスペースを試行的に利用しながら、東京事務所の設置場所を検討した結果、令和6年4月1日からWeWork丸の内北口に高松市東京事務所を開設することを決定した。 また、関係課が連携しながら、他自治体東京事務所と共同で、本市PRブースを出展するとともに、様々な分野で活躍している本市出身の東京圏在住者と日常的な交流を行い、人的ネットワークを構築した。 本市PRイベントの充実や、本市出身者を中心とした人的ネットワークの強化が必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
東京事務所を拠点に、東京圏におけるシティプロモーションと官民連携の推進を図ることで、本市が、多くの人が集まり、まちが元気になる、活力にあふれる、その好循環を繰り返すまちとなるように目指す。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	自治推進事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	高松市の自治の基本理念や自治運営の基本原則などを定めた「高松市自治基本条例」に基づき、市民、議会、行政が連携・協力してまちづくりに取り組み、自治を推進することができるよう、周知広報に努めるとともに、自治の運営状況を把握し、検証する。				
6年度概要	高松市自治推進審議会（自治の推進状況及び条例の見直し等の検討） 条例パンフレットの配布 高松市自治基本条例逐条解説及び手引きの作成				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	

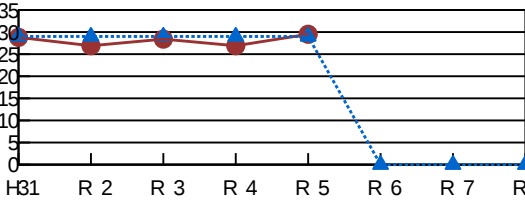
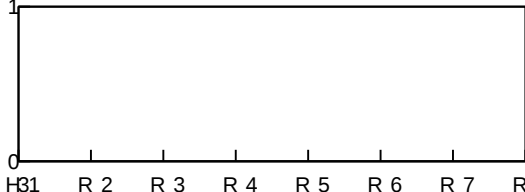
【事業の目的】

対象（何を）	市民（事業者、NPO、通勤通学者等含む）、議会、行政
意図（どのような状態にしたいか）	自治の担い手である市民、議会、行政が連携・協力して地域の個性や自立性を尊重した、市民主体の活力のあるまちづくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
審議会等の回数	回	1	1	0	1	1
パンフレット等配布数	部	1,200	1,200	200	0	1,200

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	施策全体の満足度（市民満足度調査）	%	目標値	29	29	29	0	29
			実績値	28.4	26.9	29.5		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 101.7%
	市民満足度調査の結果では、施策全体の満足度は29.5%となっており、達成率は101.7%と目標を上回った。							35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	1,947	2,369	1,505	1,570
（事業費）	〔円〕	59	124	0	65
（職員人件費）	〔円〕	1,888	2,245	1,505	1,505

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
高松市自治基本条例について、本市ホームページでの逐条解説の公開、高松市自治基本条例パンフレットの配布により、市民への周知啓発や職員への研修等を行った。 また、社会情勢が急速に変化している現状を踏まえ、同条例の規定について検討を行い、逐条解説を見直した。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、自治の基本原則に基づく自治運営が行えるよう庁内の各種事業の検証を行い、事業の見直しを行う。			

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち			評価担当	局名	財政局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立				課(室)名	ファシリティマネジメント推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進				電話番号	087-839-2262
	基本事業	効率的な行政運営の推進			事業実施主体	市	
	事務事業	ファシリティマネジメント推進事業			事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	本市の公共施設・公用施設は、老朽化が急速に進展しているが、今後の財政状況を考慮すると、全ての施設を現状のまま維持・更新することはできず、施設の保有総量を削減するなど、施設に係る経費の削減に取り組む。また、公共施設サービスの維持を図るため、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、経営的な観点から、施設の用途転用や共用化による有効活用を促進配置の見直し、複合化、未利用スペースの貸出しなどに取り組む。					
6年度概要	公の施設指定管理者選定委員会委員報酬 非常勤嘱託職員報酬及び社会保険料 F M推進支援専門員報償費及び旅費 システム委託料 その他					
重点取組事業		市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	内部管理事務	

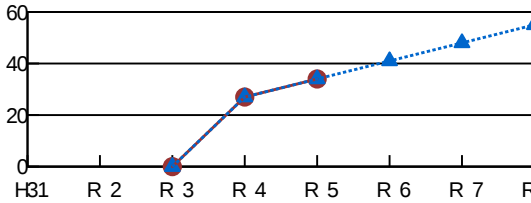
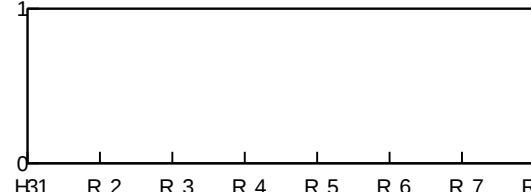
【事業の目的】

対象（何を）	市が保有する全ての公共施設（F M推進基本方針で対象外としている施設は除く。）を対象とする。					
意図（どのような状態にしたいか）	中長期保全計画等の策定を行い、効率的・効果的な維持保全や長寿命化対策により、適切な維持管理を行うことで、財政負担の軽減や平準化に努めるとともに、市有施設の保有総量（延床面積）の最適化を図る。					

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
庁内プロジェクトチーム開催回数	回	2	2	1	2	2

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	再編整備実施計画策定済みの施設数		施設	目標値	0	27	34	41	34
				実績値	0	27	34		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 施設所管課との情報共有・情報提供を更に進めながら、再編整備実施計画の早期策定に向けた支援を行う。 （目標達成度） 		 （達成度） 100.0% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）		 （達成度）						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	56,131	56,466	57,382	58,991
（事業費）	〔円〕	3,281	4,078	4,693	13,829
（職員人件費）	〔円〕	52,850	52,388	52,689	45,162

【評価】

評価ランク （A～D）	A	今後の方向性 （拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
7施設において「高松市公共施設再編整備実施計画」が策定され、合計34施設となったが、残りの35施設の施設所管課は、今後の利活用の検討や関係機関（者）との調整に時間を要している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
施設の維持・更新に係る経費の縮減と平準化を図ることで、財政負担の軽減を目指すため、「高松市公共施設再編整備計画」において廃止等の方向性にある施設は、「高松市公共施設再編整備実施計画」の早期策定に向け、助言等の支援を行う。			

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2277
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	総合センター整備事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	な題・動 民校にお充 住まを地之 二証せ、美 ンクシん仏 ズー、タ生 多の方政「 様の行一山 化性源三セ 経踏再構タ 活え分にこ 力てと再お の、効編い 低市率して にの運市 伴身用民幼 う近をニ児 税な図一健 収行るス康 減機め、的査 少関、確の機 社あ状応能 会るのを有 障支本れす 費所庁るる の増・合保 大張所のセ どで出行ター 市政さ、織整 取りの目し、 巻域指す。高 環境行政を、 環組「松市南 の組織に本行 変について、 化や市の現状 本市の将来と 来課の保健活				
	埋蔵文化財整理				
6年度概要					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	総合センターを利用する高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	総合センターを利用することにより、これまでよりも幅広い行政サービスの提供が受けられ、市民の利便性が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	整備事業の進捗率（事業費ベース）単年度	%	100	100	100	0	100

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
総合センターへの移行施設数		か所	目標値	5	5	6	0	
			実績値	5	5	6		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)	(達成度)
平成29年1月30日に総合センターへ移行した牟礼・香川・勝賀・国分寺に加え、令和4年3月1日に仏生山総合センター、令和5年4月1日に山田総合センターがオープンしたことにより、今まで以上に市民に近いところで幅広い行政サービスが提供できるようになった。			100.0%
			35点

成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
総合センターの取扱業務数		業務	目標値	250	255	260	0	26
			実績値	255	262	261		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)	(達成度)
令和5年度目標値260業務に対して実績値261業務を達成することができた。			100.4%
			35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	円	1,027,371	521,138	104,837	12,022
（事業費）	円	1,012,271	513,654	95,052	2,237
（職員人件費）	円	15,100	7,484	9,785	9,785

【評価】

評価ランク (A ~ D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
--------------------	---	--------------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

山田総合センターについては、整備工事が完了し、令和5年4月1日に開設した。
なお、山田総合センター外構工事等については、工程調整に日時を要したことにより、年度内に予算の執行が不可能となったため、事業の一部を翌年度に繰り越した。
また、前年度からの繰越事業である公園整備（防火水槽含む）については完了した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

地域行政組織再編計画に基づき、市民ニーズに沿った行政サービスの提供を図る。

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2135
	基本事業	効率的な行政運営の推進		事業実施主体	市
	事務事業	次期総合計画策定事業	事業期間	令和 3年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	「第6次高松市総合計画」の計画期間が令和5年度で終了することから、新たな目標と発展の方向性を定め、各種施策・事業を総合的かつ計画的に推進するため、市政運営の基本方針としての次期高松市総合計画を策定する。				
6年度概要					
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）	

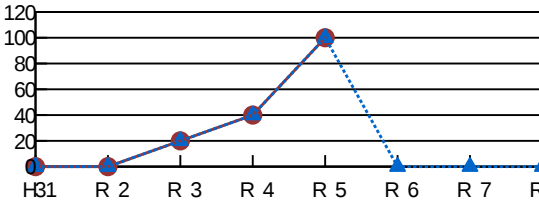
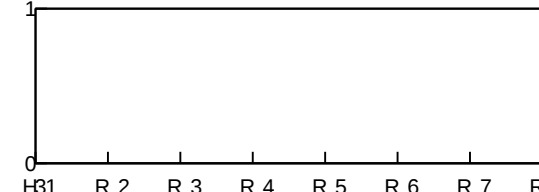
【事業の目的】

対象（何を）	次期高松市総合計画（全市域、全市民）
意図（どのような状態にしたいか）	高松市の新たな目標と発展の方向性を定め、各種施策・事業を総合的かつ計画的に推進するため、市政運営の基本方針としての次期高松市総合計画を策定する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
策定に係る各種会議の開催回数	回	0	12	14	0	25

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5		
	次期総合計画策定進捗率		%	目標値	20	40	100	0	100		
				実績値	20	40	100				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）										
成果指標	次期高松市総合計画（基本構想、実施計画、概要版）を策定し、目標を達成できた。		（目標達成度）							（達成度） 100.0%	
											35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）		単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5			
			目標値								
			実績値								
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		（目標達成度）							（達成度）	

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	21,307	23,571	31,975	0
（事業費）	〔円〕	9,227	10,100	18,504	0
（職員人件費）	〔円〕	12,080	13,471	13,471	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	完了
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
市民の意見を反映しながら、市民に身近で分かりやすい計画となるよう策定した。今後は、総合計画を活用しながら、本市のまちづくりを周知するとともに、目指すべき都市像の実現に向けて、各種施策・事業を推進していく必要がある。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
総合計画が市民に身近な計画となるよう、デジタル技術も活用しながら、本市のまちづくりを効果的に発信していく。また、社会情勢に合わせた課題を的確に把握し、各施策が効果的に推進できるよう、組織や分野を超えて横断的に取り組むことができる体制を構築していく。			